

京都市立伏見板橋小学校沿革概要

明治

5. 1 1 旧尾張藩邸跡に、伏水第二校として開校する。
9. 2 第三大学区第六中学区伏水板橋校と改める。
9. 1 2 右大臣岩倉具視、本校を巡視される。
- 1 0. 2 天皇、大和御行幸の折、本校にてご休息される。
- 1 5. 1 1 校名を伏見板橋小学校と改める。
- 1 6. 1 0 裁縫専修科を設置する。
- 2 0. 7 伏見板橋尋常小学校と改める。
- 2 2. 7 町制の実施により、伏見町第一尋常小学校と改める。
- 2 8. 4 補修科を設置する。
- 2 9. 2 校内に板橋幼稚園を設置する。
- 3 0. 1 1 創立25周年記念式を行う。(13学級 792名)
- 3 1. 4 初めて学校医をおく。
- 3 4. 5 夜学校を設置する。(6年制 対常科4年 補修科2年)
- 3 6. 4 学区制により、344名の児童は新設の第三尋常小学校(現伏見住吉小学校)に移る。
- 8 校内に落雷。東教室(現存せず)南端の柱6本裂ける。
- 3 6. 1 2 校内に、伏見町立実業補修学校ができる。
- 4 1. 4 義務教育が6年となる。
- 4 2. 1 1 第1回運動会を開く。
- 4 3. 3 初めて、伊勢へ修学旅行を行う。



大正

7. 4 高等小学科を置き、伏見第一尋常高等小学校と改める。
9. 4 伏見第一尋常小学校と改める。
- 1 0. 1 1 創立50周年記念式を行う。(23学級 1361名)
- 1 1. 2 学芸会を開く。
- 1 2. 4 伏見第三尋常小学校の分教場の設立により、通学区域の一部が変更される。
- 1 3. 5 校旗ができる。